



# 三中だより

中野区立第三中学校  
第5号  
平成29年9月4日発行

## 引き継がれる伝統「共存・共生」

校長 齊藤 久

年度当初の4月に3年生を対象に実施した全国学力調査の結果が8月下旬に発表されました。今回は国語と数学の基礎と活用の学力を調査しました。第三中学校の3年生の学力は、国語の平均正答率は東京都の平均正答率とほぼ同じで全国平均よりは高い正答率となっています。数学の平均正答率は東京都ならびに全国よりも高い正答率となっています。

全国学力調査平均正答率 (%)

	国語A [知識]	国語B [活用]	数学A [知識]	数学B [活用]
<b>第三中</b>	<b>79.0</b>	<b>73.0</b>	<b>70.0</b>	<b>54.0</b>
東京都	79.0	74.0	66.0	50.0
全 国	77.4	72.2	64.6	48.1

この全国学力調査には生徒質問紙というアンケートがあります。毎年アンケートの質問項目は100問近く出題されています。その質問の中で三中の伝統が反映されている興味深い結果を紹介します。

### 質問49 『外国の人と友だちになったり外国のことをもっと知ったりしたいと思いますか』 (%)

	当てはまる	どちらかと言え ば当てはまる	どちらかと言え ば当てはまらない	当てはまらない
<b>第三中</b>	<b>57.4</b>	<b>31.1</b>	4.9	6.6
東京都	41.1	27.5	17.0	14.2
全 国	36.6	27.7	19.6	15.9

長い夏休みが終わった9月1日、3学年合わせて8名の転校生が三中に来ました。そのうちの6名は帰国生です。6名の中には生まれて初めて日本に帰国する生徒から小学生の頃に日本の学校へ通学した経験がある生徒など育ってきた環境は様々です。しかし転入生の共通の不安や心配な点は友達ができるか、日本の授業についていけるかです。転校の手続きの時にはどの生徒も不安を抱いていました。

3月に卒業した帰国生は「皆が優しく声をかけてくれる。」「自然に接してくれる人が多い。」「自分以外にも帰国生がいるから安心できる。」「三中に転入して良かった。」と嬉しい感想を伝えてくれました。帰国生を受け入れ優しく接することができる三中生は、帰国生と接し外国の話聞くことで、グローバルな感性が生まれ、外国が身近に感じられるようになり、外国への興味関心を高めています。昭和の時代から長い期間にわたり帰国生を受け入れてきた本校の伝統がアンケートの結果として表れています。

さらに今回のアンケートで私が1番に評価しているのは、学力の調査結果ではなく次の回答です。

### 質問55 『人の役に立つ人間になりたいと思いますか』 (%)

(次ページへ)

	当てはまる	どちらかと言え ば当てはまる	どちらかと言え ば当てはまらない	当てはまらない
<b>第三中</b>	<b>73.8</b>	19.7	4.9	1.6
東京都	62.6	27.7	6.2	3.2
全 国	66.1	25.8	5.3	2.5

三中は間もなく十中と統合しますが、生徒たちには良い伝統を新しい中学校へ引き継いでいってほしいと願っています。

## 今後の主な予定

9月 9日 (土) 学校公開  
 9月12日 (火) 補充教室開始 (~19日)  
 9月15日 (金) 水泳指導終  
 9月20日 (水) 定期考査(~22日)

9月21日 (木) 学校保健委員会  
 9月22日 (金) 鉢花交流(~23日)  
 9月26日 (火) 総体陸上  
 9月28日 (木) オープンキャンパス

## ボランティア活動

地域連携担当 渡邊 達也

毎年行われている三中生による地域でのボランティア活動が今年も始まりました。7月22日(土)には塔山小学校にて「縁日だよ!全員集合2017」が行われ、多くの三中生がボランティアとして参加してきました。ボランティアには第十中学校の生徒や地域の高校生、大学生も参加しており、生徒たちは地域の多くの方々との交流を通し、フランクフルトの販売やゲームの補助、カレーの調理、販売、など自分たちの役割を一生懸命に果たしていました。

昨年は小学生としてお客の立場で参加していた中学1年生は、今年は迎える側のボランティア中学生として小学生たちを相手したことで、昨年までとは違った経験をすることができました。

他にも、7月1日に行われた文園児童館での将棋名人戦を皮切りに、毎年恒例のふみぞの夏祭りボランティア、夏季休業に入ってから、氷川神社でのラジオ体操ボランティア、文園児童館主催の工作教室や手芸教室、川添公園で行われたお楽しみ会など、7月に多くの地域の行事にて三中生が活躍してくれました。



本校では、毎年様々なボランティア活動の体験を通じて、人の役に立つという自己有用感や達成感を味わう中で、他者に対する思いやりや豊かな人間性と社会性、また地域との交流によって地域の一員としての自覚を育むことを目的とし、ボランティア活動を推進しております。この貴重な体験で得たものを、今後の学校生活に生かし、活躍していただけることを期待しています。

## 吹奏楽部 活動報告

吹奏楽部顧問 中角 友紀

8月6日に東京都吹奏楽コンクールがありました。人数も少なく、楽器を始めまだ1か月程という生徒もおり、限られた練習の中で課題は山積み…講師の先生やOB等といった方々にもみていただきながら本番を迎えました。当日もアクシデントがあったものの、心を一つに健闘し、銅賞をいただきました。



明るく元気いっぱいの吹奏楽部員たちですが、そのパワーとコンクールで得たものを今後の演奏にいかしてほしいと思います。

保護者のみなさまをはじめ、多くの方々に支えてもらいながら活動できていることに改めて感謝するとともに、今後も温かく見守っていただけたらと思います。



## 防災週間です

副校長 三保谷 浩貴

9月1日の「防災の日」を含む一週間は防災週間です。「防災の日」は関東大震災が発生した日で、また台風シーズンを迎える二百十日でもあることから、災害への認識を深め、平時の備えについて確認するという意味で昭和35年に創設されました。防災週間では、各関係機関が緊密な協力関係をもとに、防災普及のための行事や訓練などを行っています。関東大震災では火災の犠牲者が多く、帝都復興事業ではコンクリート造りの建物や大・小公園の設置等が進められました。同時に津波災害が起こり、200～300人の犠牲者が発生しました。特に、震源が陸地に近かったため、地震後5分程度で津波が来襲しました。

平成23年3月11日に起こった東日本大震災の地震は、日本で起こった観測史上もっとも大規模な地震で、多くの尊い人命が失われ、地域社会にも大きな傷跡を残しました。東京でも大きな揺れがあり、交通機関の停止により、多くの都民が帰宅困難になりました。児童や生徒が余震の続く中、自宅に一人で不安な時間を過ごさなければならなかったことなど、安全確保にも課題を残しました。また、通信手段の過剰集中による電話等の長時間にわたる不通、電力の供給不足による計画停電や物資の不足など、首都東京の都市機能が一時停止するほどの影響がありました。

大正12年の関東地震（関東大震災）から90年余りが経過し、関東地震以降のプレート運動によって地震エネルギーがある程度蓄積されています。そのため、M7級の地震として発生する時期に差し掛かっていると推定されています。

国の地震調査研究推進本部は平成24年2月、このような地震（M6.7～7.2程度）が発生する確率について、これまで同様に「今後30年以内に70%程度」と予測しています。この地震は、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）のように都市の直下で起こる可能性もあります。

今後、東京が大きな地震に見舞われた場合、自分の身の安全を守るために、まず一時集合場所に行きますが、地震発生後、家族と連絡が取れないことが考えられます。また、災害によって建物や道路が破壊され、通常どおりに一時集合場所に行くことができないことも想定されます。

そこで、日頃から、家族で集まる一時集合場所を確認し、移動方法や連絡方法を決めておくことが必要です。さらに、家族で実際に歩いて危険箇所を見るなどして、いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように備えておきましょう。＜地震と安全（東京都教育委員会）より抜粋＞

東京都は、各家庭において、首都直下地震等の様々な災害に対する備えが万全となるよう、防災

ブック「東京防災」を作成しました。下記の点について、ご家族でのお話し合いをお願いいたします。

#### 【家族で話合ってみよう】

- ① 家にいるとき大地震が起きたらどうしますか。（地震発生の瞬間は？地震直後の行動は？）
- ② 外出時に大地震が起きたらどうしますか。（コンビニ、ホール、エレベーターでは？）
- ③ 避難することになったらどうしますか。（避難場所は？安全な避難のポイントは？）
- ④ 在宅避難することになったらどうしますか。（何を準備・備蓄しておくが良い？）
- ⑤ 居住する地域の過去の災害を知っていますか。
- ⑥ 災害と地形の関係を知っていますか。（地域の地形から注意が必要な災害は？）
- ⑦ 地域の防災訓練に参加したことがありますか。

本校では、大きな災害発生時、下記の3つの手段で、学校の最新情報を配信いたします。各ご家庭で情報を収集する手段をご確認ください。

- ① ホームページ nk-3-j.a.la9.jp
- ② 災害用伝言ダイヤル「171」ダイヤル→「2」プッシュ→「03-3362-5236」
- ③ 学校情報配信システム ※メールの登録をお願いします。

## 夏休み、三中改修工事を行いました

副校長 三保谷 浩貴

平成30年の第十中学校との統合に向け夏季休業を利用して、本校の改修工事が行われました。普通教室床及び壁、給食室、会議室、芹沢文庫、芹沢文庫前廊下、技術室、校庭更衣室及び男女トイレ、校舎屋上及び校庭更衣室・トイレ屋上の防水処理、第三校舎外壁等に工事が入りました。夏季休業中は、部活動や補習授業、面談等でご不便をおかけした場面もあつたと思いますが、ご理解とご協力ありがとうございました。無事工事も終了いたしました。9月9日（土）の学校公開で是非ご覧ください。

## 開校70周年に向けて

周年行事担当委員長 岩淵 孝太

11月4日（土）、開校70周年記念式典が行われます。三中最後の式典として思い出に残る記念式典になるように周年実行委員会を中心に教職員一丸となって準備をしています。ご多用の中、寄稿をお寄せいただいた皆様、心より感謝申し上げます。紙面をお借りして、御礼申し上げます。

記念誌に載せる写真については夏休みに選定を終え、レイアウトを考えました。現在、最終調整に入っています。夏休みの宿題としての生徒のメッセージも集まりました。9月4日（月）には全校写真、5日（火）には校舎写真を撮り、記念誌の完成へ向けて、着々と進んでいます。

さらに、祝賀会に向けて開校70周年記念行事委員会を開き、実行委員長、実行副委員長を中心にPTAの皆さん、多数の地域の方のご協力をいただきながら準備を進めています。約1年前から会場決定などの準備を進めて参りましたが、記念式典及び祝賀会の案内状の作成、案内名簿の作成、案内状の発送を終え、いよいよ最終段階です。祝賀会のポスターを作成し、夏休み中から地域の掲示板に貼らせていただいています。「ポスターを見て」との問い合わせもたくさんいただきました。今後、アトラクションなどについてより具体的な話し合いを進めていく予定です。当日は多数の方のご出席をお待ちしております。

在校生保護者への祝賀会の案内もPTAより近日中に配布予定です。保護者の皆様、是非ご出席ください。

来年度の第十中学校との統合を控え、中野東中学校と変わっていく中、三中最後の周年行事を是非とも成功させたいと思っています。皆様変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。